



森づくりサポーターニュース

令和元年（2019年）9月15日号

びわこ地球市民の森（森づくりセンター）

〒524-0102 守山市水保町2727 TEL 077-585-6333 FAX 077-585-6312
 メールアドレス biwako@moridukuri.info URL <http://www.moridukuri.info>

新しい時代に期待される森のあるべき姿 （シリーズ2）

この夏も長梅雨の後、35℃以上の猛暑日が続き、その後は台風や前線の影響で大雨も降りました。やっと数日前からツクツクボウシが鳴き始め、秋が忍び寄ってきました。

多くの皆さんに植えていただいた植栽木（苗木）で最初に植えたものは、樹齢20年になりました。もう立派な成木です。約16万本の苗木は落葉樹が圧倒的に多いのですが、その落葉樹のベスト3は、クヌギ、コナラ、ヤマザクラです。常緑樹のベスト3はアラカシ、スダジイ、シラカシです。この中で、ドングリになるブナ科の木は、5/6を占めています。90種の中でもブナ科植物は15種と約17%を占めますが、数では約16万本中67,000本で約42%とさらに大きな数値を示しています（植栽数による）。子供たちが大好きなカブトムシやクワガタムシも今年の夏はそこそこ出ていたと思われますが、虫たちが好きなクヌギやコナラも大きくなり、そろそろ樹液を出しかけてきました。仕掛けをしなくても虫たちが集まってくる日も近そうです。



クヌギ・コナラ主体の森



ナラガシワ主体の森

これから森は秋に向かいます。落葉樹と常緑樹の比が5：2なので、落葉樹の紅葉、黄葉（共に「こうよう」）が広がっていきますが、私はもう一つ「茶褐色」の色があると思います。この森の紅葉は、ヤマザクラ、ヤマモミジの他に数本の自然生えのヤマハゼ、ヌルデなどがあるくらいで、目立つのは黄葉と茶褐色系の葉ばかりです。そしてほとんどの木が、ドングリをはじめ大小さまざまな大きさや色の実、種を着けます。カシワのように、落葉樹でありながら大きな茶褐色の葉を、春新葉が出るまで着けるものもあり、秋は森の実や葉っぱの魅力でいっぱいです。



カシワの群植

今年はスダジイやクヌギなどのドングリが豊作の年ようです。10、11月にドングリ拾いにやって来る、市内外の保育園や幼稚園、小学校の子供たちの喜ぶ顔が目に見えますが、紅葉、黄葉した木や茶褐色の木々を観たり、ガマズミやウメドキなどが実を赤く熟れさせ、動物や鳥たちが喜ぶ様子も観てほしいと思います。



豊作のスダジイ



豊作のマテバシイ

第2回

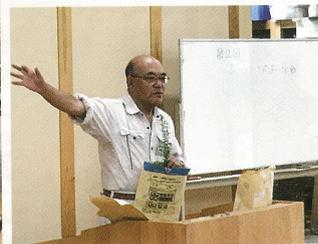
「森づくりサポーター活動」

令和元年7月27日(土)、今年度2回目の森づくりサポーター活動が、サポーター52名、ガールスカウト16名、計68名の皆さんの参加のもと森づくりセンターで開催されました。

当日は、台風6号の影響による降雨のため、野外での活動や自然観察会を取り止め、当センターセミナールームにおいて、江見所長から公園で見られるシロツメクサやアカツメクサ、ヤハズソウやヒメジョオンなどの夏の草花の話があったあと、全員でそれらの花や葉っぱ、種などをパウチを使って葉づくりに挑戦しました。



開会式の様子



江見所長から夏の草花のお話

色や形の異なる草花や木の葉っぱなどの材料を巧みに組み合わせ、野外での活動とはまた違った体験に夢中で取り組みました。出来上がった作品はどれもオリジナルな力作でした。



葉の材料選び



葉の原版づくり



パウチを使ってラミネーターで葉づくり



完成作品

活動後は、参加者全員でスイカを賞味し、ひとときくつろぎ、一時を寛ぎました。

あいにくの天候で野外での活動ができませんでしたが、多くのサポーターやガールスカウトの皆さんにご出席いただき無事活動を終えることができました。

次回のサポーター活動は、令和元年10月12日(土)に予定しています。多くの皆さんのご参加をお待ちしています。



遊歩道完成!! 『竹取物語』

ふるさとゾーンの竹林に新しい園路ができました
～根元が輝く竹を見つけに行きましょう～

竹林(旧野洲川の河畔林)を横断する約80mの園路が完成しました。
つどいのゾーンの旧森づくりセンターから、グランドゴルフ場を右に見て、トイレの方向へ行くと橋があります。
水路を渡って右へ約130m行ったところの四阿(あすまや)の向かいに、竹林に入っていく新しい園路(階段)があります。



竹林の間を抜けると、正面の土手に窓木(エノキ)があります。

このエノキは、公園として整備される前からの樹で、幹の途中から分かれ、再び枝と交差したところが癒合し、「窓」ができています。



窓木(エノキ)



今までは、タケノコ取りや虫捕り、竹林に興味がある人、用事がある人、入りたい人が足を踏み入れていた竹林でしたが、通路ができたことで、柵はありますが散歩やジョギング、近道する人などが気軽に通れるようになりました。

何気なく通った人が、がっかりしないように、安全に明るく美しい、「かぐや姫」が待つような竹林づくりを、今まで以上に気に掛けて、手入れをしていこうと考えています。

その「難問難題」に応えられるよう、サポーターの皆様もご提言やご協力をお願いします。

〈竹林と竹やぶ〉

「竹林(ちくりん)」とは、目的をもって管理されている竹の群落を言います。

「竹やぶ」とは、手入れもされず、倒れた竹や枯れた竹が放置され、人が入れないほど竹が密集・繁茂した場所をいいます。公園内の竹林には、キツネなどの野生生物に配慮して、あえて人が入りにくいようにしている区域もありますが、目的をもって、管理していますので、「竹やぶ」とは言いません。

展望台からの竹林(河畔林)



明るい竹林



竹林内の高木



レイカディアの日の活動



紹介!!

「森づくりサポーター」活動団体 が増えました。

平成 30 年 11 月より、レイカディア大学草津校園芸学科 39 期生の「ENG39A」(22 名)の皆さんが、また平成 31 年 4 月からは、レイカディア大学草津校びわ湖環境学科 39 期生「LBK39」(22 名)の皆さんが、森づくり活動に参加されています。

毎月活動の登録団体が14グループとなります。これからも引き続き森の手入れ(育樹)や間伐材を利用したクラフト・「つどい」での体験コーナー(利・活用)など、いろいろとご協力・ご提案をいただいて、楽しく、健やかに、無理なく、活動していきます。

未来の子どもたちに引き継ぐ「森づくり」を、皆様とともに進めていきたいと思ひます。



ENG39A



LBK39



お知らせ

第3回森づくりサポーター活動のご案内

秋たけなわの絶好の季節に、今年度3回目のサポーター活動を開催します。多くの皆さんのお越しをお待ちしています。

開催期日 令和元年10月12日(土)

開催場所 びわこ地球市民の森(つどいゾーン)

活動内容 植栽地の育樹活動と自然教室など



編集後記

今年の夏は猛暑の毎日でした。また、7月に開催したサポーター活動は台風の影響で野外での活動が取り止めとなりました。天候に左右され活動にも影響を受けましたが、ようやく本格的な秋を迎えました。森に親しみ、森で活動する絶好の季節です。多くの皆さんのお越しをお待ちしています。

森のデータ

森の面積	42.5ha
森の延長	3.2km
森の幅	100 ~ 200 m
植樹面積	80,808 m ²
植樹期間	H13 ~ H25
植樹活動参加者数	44,994 人
植樹本数	160,967 人
森への利用者数 (H30)	186,720 人
森づくり活動参加者数 (H30)	7,445 人
内育樹活動参加者数 (H30)	2,846 人